おおあらい
第36号
発行所 大洗町役場
発行人 加藤　清
印刷所 新いばらきタイムス社
TEL水戸㉓5128代

新年度予算 4億9千700万円

…経済開発、社会開発をめざして…

加藤町長、抱負を説明

昭和四十年度予算のほか、十三議案を審議する第二回定例町議会は、去る三月十八日開会され三月二十六日まで九日間にわたる審議の結果、全議案を原案通り可決しました。本会議第二日加藤町長は、新年度予算編成に際しての施政方針について別項の通り説明を行い、翌第三日には各担当課長より、予算の概要について説明、つづいて町政全般にわたって一般質問が行われ、真剣な討議ののち新予算については各常任委員会に附託され、部門別に詳細にわたって内容審議がなされたあと、三月二十六日再開の本会議において原案通り可決されました。注目の新年度予算は一般会計で三億二千六百十万円、水道特別会計で九千八百九十一万円、国保特別会計で七千二百二十六万円、合計四億九千七百二十八万円となり、大洗町誕生以来最高の予算規模となりました。

◇編成の基本方針

ただいまから昭和四十年度の予算案について説明いたしたいと存じます。私達は近代的な新しい町づくりに、日夜努力いたしておるのでございますが、まず目標としては、一つは町民の所得を増すための経済開発であり、もう一つは町民の日常生活とつながる社会開発であると考えております。これらが総合して実現されるとき、はじめて町民の福祉が確立されると信じます。

これを具体的に申上げれば、私達は地域開発の拠点の一つとして、大洗港の建設を打出しており、これは着々として進んでおります。なお成田地区に建設が決定している大洗原子力研究所は、四月二十二日に起工式が行われる予定であり、これはまた地域開発の一つの拠点となり得るものと存じます。この両者を包含し、恵まれた立地条件を充分に生かして観光の開発を進めるとき、必ずや町の経済が好転し、発展することを信じてやみません。なお年々町勢が伸び、都市化してゆくことは御承知の通りでございまして、一日も早く受入れ態勢と申しましょうか。環境の整備を図って行かなければなりません。道路や学校あるいはまた水道や住宅、その他衛生施設、国保関係等、建設又は改善を図って行かなければならない問題が沢山あるわけでございまして、これら社会開発は人間尊重という精神から考えましても特に大切な点であります。この両者を併行して進めてゆくことが新しい町づくりの目標であると存じます。

こうした基本的な考え方に立って編成した本年度の予算規模は、一般会計三億二千六百十万八千円、特別会計一億七千百十七万三千円計四億九千七百二十八万一千円でございまして、これは昨年度に比し大巾に上回わっております。なぜかと申しますと、漁港とか、水道とか、国保とか継続事業である上に発展途上にある町としてどうしてもやらなければならない道路とか、学校とか、住宅とか新規事業があるからであります。

予算編成に当って健全なる財政を守るということは大切でありますが、私達は新しい建設のためには万難を排して、その実現に努力しなければならない責任を持っておることを忘れてはならないと信じます。

◇新年度の主なる事業

まず産業基盤の確立のために大洗港の建設事業費一億三千五百万円そのうち国補事業費一億円、その二割二千万円が町の負担でありまして、新年度は南防波堤一〇五㍍の延長と新しく西防波堤にとりかかる予定であります。

なお漁業、農業、商工、観光の振興対策として一千万円を計上しております。

次に文教の振興でございますが、南中学校の特別教室建築費二千四百三十八万円と一中の防音教室建築事業費四千五十万円を計上いたしました。

もっとも防音事業費は「F一〇五」の来飛によって甚るしく騒音を感ずるため緊急におきた問題でありまして現在国に対し陳情運動をしておるところでございます。

町の育英資金は毎月二千円宛六名に支給しておるのでございますが本年度は三名を増員して九名とし二十二万円を計上しました。

環境整備費としては総額一億三千四百十万円でございますが、このうち道路、下水の整備に二千二百四十万円、町営住宅建設費二千五十一万円、水道拡張費八千一百八十六万円、清掃事業費二百十七万円、し尿処理建設費六百十六万円でございます。

道路のうち保健所前から大洗公園に通ずる新設道路は、緊急路たる県道予定線として行い、し尿処理場建設は、常澄村、旭村と共同して実施する予定であります。なおこの他社会福祉関係として、国補事業は特別会計でありますが、本年度の予算は七千二百二十六万一千円でありまして、昨年度に比し約六十六パーセントの増でございます。

このうち八十六パーセントが医療費でございまして、昨年度に比しかなり値上りを示しております。

なお四十一年の一月から全世帯の七割給付を実施する予定であり、特に本町は受診率が非常に高く県下で二番目でありますので、一般会計から五百万円の繰出しをしても保険税の値上げは免れないわけでありまして、全国どこの市町村も苦慮しておるところでございます。赤字補填の国の補正予算も組まれると思いますが、課税は六月からでありますからなお一層慎重に検討したいと思っております。

◇新年度の財政

まず経常的歳入を申上げますと、前年度に比し、町税において六百万円、地方交付税において千五百万円、使用料、手数料において三百万円、合計二千四百万円の伸びを示しておりますが、経常的支出におきして、人件費で千七百万円、物件費で千百万円、補助金負担金で四百万円、公債費で三百万円合計三千五百万円の増であり、差引き千百万円の不足であります。

なおこの他歳出面で大洗港の負担金、国保の繰出金および道路修築費等の経常的性格をもつ事業を加えますと、歳出はどうしても二億六百万円になりますが一方歳入面におきまして、昨年度計上いたしました財産収入三千万円を繰越しましたので、その財源を加えますと二億六百万円の骨格予算は組めるわけであります。

しかし現在私達の町を取まく客観情勢を考えますときそれだけにとどまるわけにはゆかないと思います。学校の問題をみましても、道路の問題を取上げましても、或は水道の問題を考えましても、或は屎処理の問題をみましてもなに一つ現在のまま遅延させることはできないのであります。三、四年経てば原研側から大きな税収入も見込まれると思いますが、果してそれまで見送ることができましょうか。前に述べました建築事業は町にとって大切なものばかりでありまして、これを遂行するためには、補助が四千九百六十五万一千円、起債が千二百七十万円計六千二百三十五万円を見込みましてもなお五千三百万円の自己資金が必要であります。いかにしてこの資金を調達するかが今日私達に与えられた大きな問題であります。

先日議会協議会で申上げました町有ゴルフ場用地の売却問題はゴルフ場側でも小委員会ができまして検討中でありますが、私達もできるだけ一体となりまして財源の確保については真剣に努力したいと存じます。

この他庁舎も殆んど老朽化して一日も早く建て替えなければならず高校の新設も懸案の一つでございますが、これらは財源の見透しがつきましてから具体化してゆきたいと存じます。なお起債額は別表にあります如く新年度分を入れまして総額一億一千百六十六万円でございまして新年度の償還額は九百九十七万円であります。

借入限度額は償還額が一般の財源即ち町税と交付税の合計額の二割に達するまで認められるわけでありまして本町の場合は新年度一般財源の総額は一億三千百十二万七千円でありますから、毎年二千六百二十二万五千万円の公債償還まで認められるわけであります。

◇将來の展望

道路とか漁港或いは鉄道等はあらゆる産業の基盤になるわけでありますが、本町を通ずる国道五十一号線また県道大洗公園線等も着々整備されて参り、なお水戸、常澄大洗を通ずる鹿島鉄道も漸次具体化せんとしております。

大洗港や大洗原研の建設と併せ考えますとき、私達の前途は明るく希望に燃えております。

（議会で説明する加藤町長）

企画開発、水道の二課新設

四月一日付で人事異動

豊かで文化的な町づくりをモットーとして、町をあげて精進をつづけてきました甲斐あって、わが大洗町は一歩一歩前進をなしつつありますことは誠に喜ばしい限りであります。

これと対応し、町では去る四月一日付を以って、企画開発課と水道課の二課を新設し、行政機構の充実を図ることとなりました。新しく誕生した企画開発課の任務は

①町の基本的総合企画及び開発に関すること。

②行政事務の改善に関すること

③各課の事業の調整に関すること

であり、町の発展を図るためにはどうすればよいか、どのように開発をすすめるべきか、効率的な行政事務の改善はどうすべきか、などの極めて重要な仕事をするところであり、また水道課では住民生活に欠も大切な水を確保し、これをあまねく全町に供給するため町では、昭和三十八年以来従前の簡易水道から上水道に切換え、三カ年計画で事業費一億五千三百万円の予算規模を以って着手していますが、おそくても明年中には全町水道化を実現しようとするもので町としてはこの膨大な予算で事業を実施する関係上新しく課を設けたものであります。その任務は、

①水道計画全般に関すること

②給配水施設工事の設計及び実施並びに維持管理に関すること

③検針及び料金の徴収に関すること

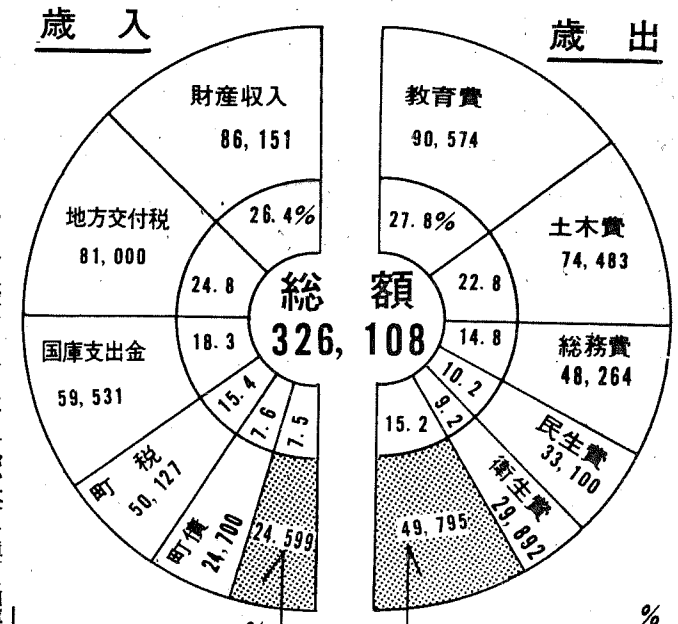
④水源並びに浄水場の維持管理に関すること

などであります。

この機構改革に伴い、四月一日付を以って庁内職員の異動が次の通り行われましたのでお知らせいたしますとともに、今後皆様方の一層の御支援御協力をお願いいたします。

新年度の予算は非常に難しくて満てない苦しみでございますが町が発展途上にあることを考えれば、いかなる苦しみにも耐えて進んでゆかなければならないと存じます終りに予算執行に当りましては、できるだけ慎重に効果の上がるよう留意して参りたいと存じます。

昭和40年度予算一覧（単位千円）



歳入	千円	%
寄付金	7,007	2.1
使用料及び手数料	6,473	2.0
分担金及び負担金	5,914	1.8
県支出金	3,793	1.2
諸収入	722	0.2
繰入金	680	0.2
繰越金	10	0

歳出	千円	%
議会費	10,912	3.3
公債費	9,976	3.1
農林水産費	9,854	3.0
商工費	8,106	2.5
消防費	5,635	1.7
労働費	4,202	1.3
予備費	1,000	0
諸支出金	100	0
災害復旧費	10	0

納税は
納期までに
納めましょう

新職名	氏名	前職名
企画開発課長	清水　勝雄	建設課長
建設課長	小杉　光雄	保険課長
第一保育所長	藤沢　貞	教委事務局長
農委事務局長	大川　保	第一保育所長
水道課長	田山　正徳	経済課長
教委事務局長兼教育係長	高野　勇瀬	社会教育主事
経済課長	沢　勇	出納室長
保険課長	佐藤　忠一	議会事務局長
出納室長	川崎　義男	厚生課民生係長
総務課庶務係長	小野崎　剛	商政観光係長
経済課水産係長	大塚　敏郎	経済課農林水産係長
企画開発係長	大貫　正則	経済課開発係長
水道係長	田山　康衛	厚生課水道係長
厚生課民生係長	宮本　明	総務課庶務係長
商政観光係長	石田　実	厚生課
経済課農林係長	関根　三四郎	総務課
総務課車輌管理係長	鬼沢　司郎	総務課
教育委員会社会教育係長	小松崎　力一郎	保険課
保険課	小野崎　美恵子	出納室
出納室	鈴木　さだ	税務課
厚生課	飯島　道尚	教育委員会
保険課	日高　蔵一	税務課
厚生課	山口　忠夫	税務課
税務課	高橋　忠幸	厚生課
税務課	高橋　弘秋	保険課
税務課	藤野　うめ	保険課
総務課	和田　忠男	税務課
水道課	宮越　七郎	厚生課
〃	小沼　健司	〃
〃	郡司　治男	〃
企画開発課	米川　喜一	経済課
〃	飛田　金吾	〃
保険課	飛田　美智子	総務課
〃	渡辺　暉夫	議会事務局
総務課	関根　浪子	総務課
第二保育所	宮本　温子	税務課
税務課	山口　はる	第二保育所
季節保育所	梨本セツ子	〃
第二保育所	関根　静子	季節保育所
第一保育所	野　幸代	新採
総務課	田口　三子	〃
経済課	平川　勉	〃
水道課	島田　義男	〃
〃	石井　省一	〃
教育委員会	高橋　正彦	〃
総務課	小沼　妙子	〃

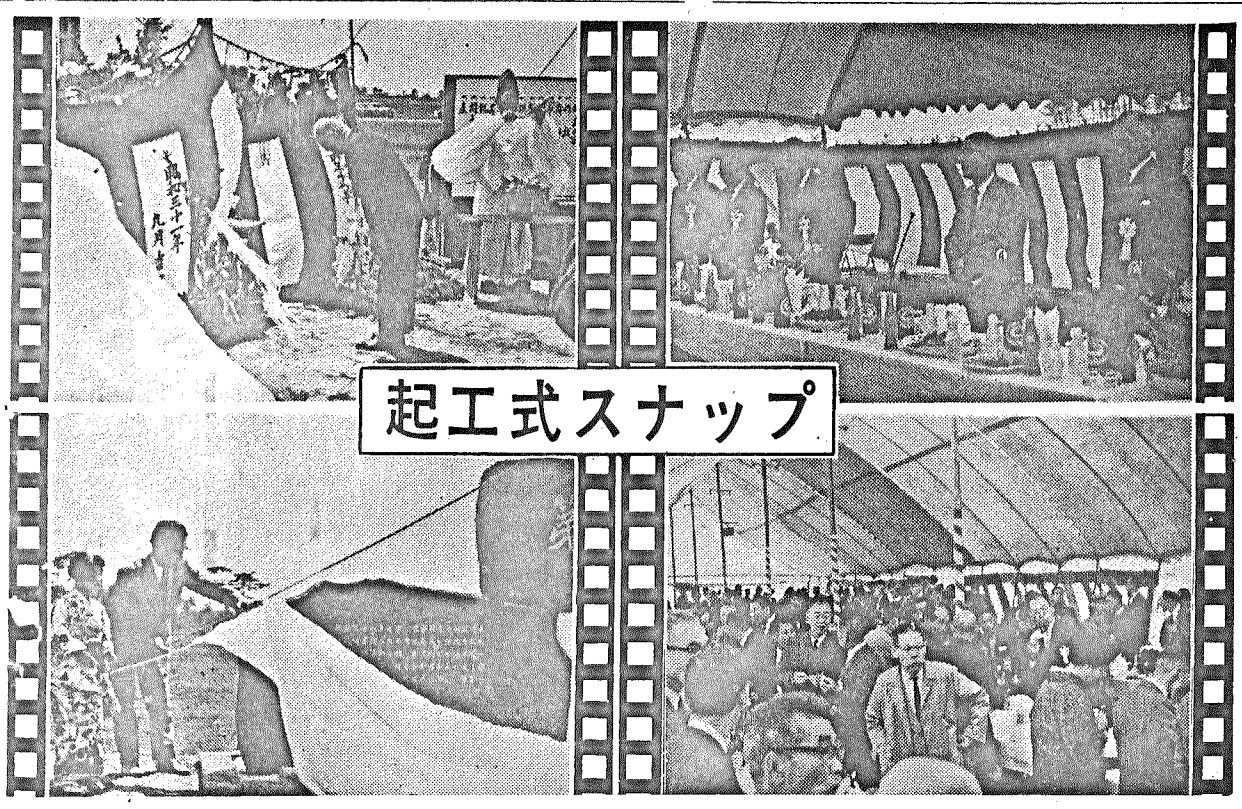
大洗原研の起工式

盛大に擧行さる

国家的な事業である原子力平和利用のための研究の場として、東海原子力研究所について大洗町に建設されることになった。大洗原子力研究所の起工式が去る四月二十三日、関係各界の有志を一堂にあつめ、注目のうちに盛大に挙行されました。当日はあいにくの曇天で、冬の真中を思わせるような寒い日でした。

丹羽原研理事長をはじめ関係原子力委員会委員、科学技術庁井上事務次官、細田副知事倉田県議会議長、橋本原子力産業会議常任理事、渡辺県原子力開発協議会長等が参列のうちに厳しゅくに式典が行われ、丹羽理事長の鍬入れが無事終了し、つづいて佐藤総理の揮ごうされた「第二の火」の記念碑の除幕式が万雷の拍手のうちに挙行されました。

そのあと会場に設備された大天幕の中で、約四五〇名の人々にて祝賀会が開催され、各界代表の方々より、大洗原子力研究所が我が国原子力平和利用と開発のため、最高の意義と効果のあがるよう、かわるがわる祝辞があり、原子力研究の一層の進展と地元大洗町の発展を祈念して万歳の三唱が行われ極めて盛大のうちに終了しました。



起工式スナップ

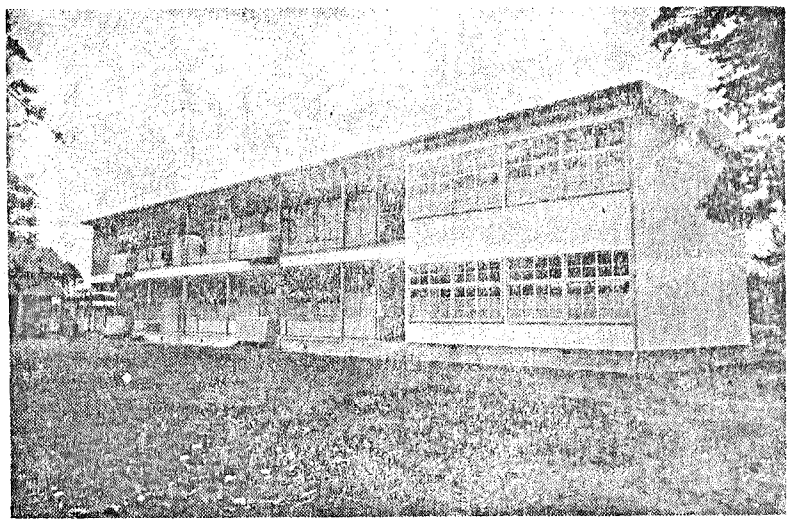
丹羽原研理事長をはじめ関係原子

「ワアッ」でき上ったぞ

ぼくらの新校舎

祝町の人達が待ちに待った祝町小学校の校舎がこのほど立派にでき上りました。安藤建設株式会社の手によって、建設工事は順調にすみ、去る三月の卒業式も新しい校舎で行なうことができました。生徒のみんなは四月の新学期から心から嬉しそうに勉強に励んでいます。去る四月十九日には竣工式が行われ、P・T・Aの人達も立派にでき上った校舎をながめてとても嬉しそうでした。

新校舎は鉄骨一階建で普通教室六特別教室。室で延二〇三坪です。



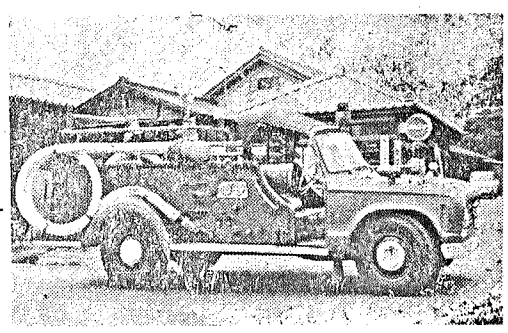
（写真は完成した祝小教室）

備へあれば、憂いなし

消防自動車ポンプ増強

卓越した消防精神と優秀な装備とを県下に誇る大洗町消防団では、夏海宿並地区の第七分団、第八分団の統合を機会に、昭和三十九年度において新しく消防自動車ポンプ一台を導入、統合分団第七分団に配属しました。このポンプは日産ジュニアー消防専用シャシーに全国屈指のポンプメーカー森田ポンプを取付け同会社にて義装をしたもので、その精能は最高のものであろうといわれています。

購入費は百四十一万五千円です。去る五月四日議会総務常任委員会立会のもとに検収を行ない、溜沼の堀割にて放水試験を実施しましたが、さすがに素晴しい性能で居並ぶ人達も嘆声をもらしていました。検収後町長より第七分団長に対し消防ポンプの配置証が手交され、いよいよ最前線で火災の防止に大なる活躍をすることでしょう。



（写真は購入した消防ポンプ）

赤十字募金

目標額三十万五百円

今年も五月一日から三十一日まで全国的に赤十字募金運動が展開されております。皆様には毎年格別のご協力をいただき誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

本年の大洗町の目標額は三十万五百円で昨年より一万七千円あまり増額になっています。募金方法としましては近日中に嘱託員さんを通じ皆様のご家庭を訪問しご協力をお願いいたすことになっております。このようにして集められたお金は、血液センターの建設、災害救助活動、家庭看護訓練など広範囲な赤十字運動をより強く推進するために使われます。

皆様の暖いご支援、ご協力を困っている人達のため切にお願い申し上げます。

「国民年金」

「福祉年金所得状況届」の提出について

福祉年金を受けているかたは、こしもあなたやあなたの配偶者、扶養義務者が、昭和三十九年中にどれだけの所得があったかを明かにする「所得状況届」を出していただく時期がまいりました。役場年金係ではあなたがよりこの届を提出していただくため個人あての通知をいたしますので左記の日時場所において届出をしてください

◎夏海地区
六月一日午前十時より午後三時まで　夏海支所

◎大貫地区
六月一日午前十時より午後三時まで　青年研修所

◎明神町、一丁目、二丁目地区
仲町、金沢町
六月二日午前十時より午後三時まで　役場保険課

◎祝町、通町、新町地区、
永町、髭釜町
六月三日午前十時より午後三時まで　役場保険課

以上の日程により届出を受付けますが、この届を出しませんと年金がもらえなくなりますから、必ず出してください。

届出の際は、国民年金証書と年金を受けるとき使っている印鑑、個人あての通知書を持参してください。

補充選挙人名簿の登録申出

近日中に参議院議員の選挙が行われますので洩れなく補充選挙人名簿の登録申出をいたしましょう

◎昭和三十九年九月十五日現在にて調製しました基本選挙人名簿に登載されなかった者で、その後選挙の資格を有するに至った者は、大洗町選挙管理委員会へ補充選挙人名簿登録申出をすることになりました。

申出のない者は投票することができません。

◎補充選挙人名簿に登録申出ができる者は次のとおりです。

1、昭和三十九年六月十五日以後引き続き三カ月以上大洗町に住所を有する者。

2、昭和三十九年十二月二十日以後前記住所資格を有し、年令満二十才に達した者。

◎公職選挙法の一部を改正する法律（昭40・5・1施行）により補充選挙人名簿は選挙期日の公示又は告示の日の前日までに登録の申出をした者に限り、名簿に登載されることになりました

◎選挙についてのお問合せは大洗町選挙管理委員会へ

大洗町役場内（電話二一四一）

簡易保険積立資金も一役

港湾や住宅の建設資金に

皆さんが加入されている郵政省の簡易生命保険の積立金が、全国の市町村等で、それぞれ公共事業の資金調達に大きな役割を果しています。当町でも大洗港の建設事業町営住宅の事業資金のうち町で負担しなければならない自己資金の一部を、大蔵省や郵政省の簡保積立金の中から融資を受けて補っています。

昭和三十九年度でも大洗港の建設事業町負担金一千八百万円のうち一千万円を、町営住宅建設資金三百八十四万円のうち百万円を簡保積立金より融資を受けて事業を完成しています。このほか学校建築などの資金などにも利用されています。皆さんが積立てられる簡易生命保険の資金がこのように新しい町づくりのため有意義に活用されていることをお知らせします。

皆さん方の御協力をお願いいたします。

なお各家庭への水道引込に要する経費については、管の延長、水栓の数等によって金額は異なりますが平均一万円から三万円程度かかります。それとこのほかに新規加入者の方々には加入分担金として一戸六、〇〇〇円をいただくことになっています。

皆さんから水道希望の申込みがありますと水道課係員が現場を調べて設計額を算出いたします。

水道料金は次の通りです。

◎一ケ月一戸当り一〇立方米（五・五石）まで

◎超過料金は一立方米当り三二円

～町税は納期内に～

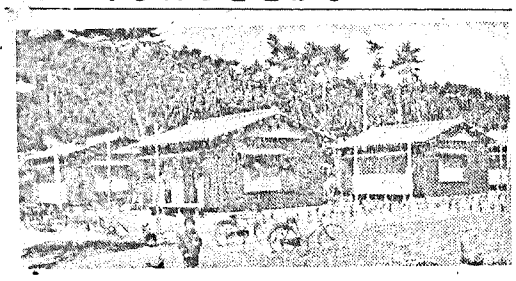
督促状は郵便で出されます

町民皆さん方の心からの御理解と御協力により、最近町税は九十九パーセントの納付成績を収めています。滞納する人はもうほとんどなくなりました。しかし納期が過ぎてから納める方がまだ少しあります。いろいろの事情があることでしょうが、必ず納期内に納めて下さい。今年度から納期が過ぎてからの督促状は、郵便でお送りすることになりました。また納期をすぎてから納税するときは、どのような事情があっても延滞金を徴収することになりましたので、よろしく御協力下さるようお願いいたします。督促手数料とか、延滞金とか余分な付加金を徴収されないよう納期内に必ず完納下さるよう重ねてお願いいたします。

母校の音楽教材にと

ピアノ一台を寄贈

大洗町在住の鈴木誠さんをはじめ、大洗町出身で同窓の川上正雄さん、寺尾正己さん、長谷川繁さん、松戸一三さん等は、このほど母校の磯浜小学校へ音楽教材用として、G3型グランドピアノ一台（時価四十万円）を寄贈されました。五人の方々の温い贈り物に対し、学校では勿論、生徒さん達は大喜びで心から感謝していることでしょう。



前原山地区に十七戸

ことしも二十八戸の増築

住宅の不足は年ごとに激しくなり、国や県でもこの解決に真剣になっています。わが大洗町では早くから町営住宅の建設にとりかかり既に七十戸の建設がなされ、住宅難の解消に努力を払ってきましたが、三十九年度においても大貫前原山地区に更に十七戸を建設しました。こんどの住宅は第一種木造平家建、九・六四坪です。さきほど入住者の詮衡も終り、十七世帯の人達が住むようになりました。

これで大洗町では合計八十七戸の町営住宅ができ上ったわけでありますが、なお昭和四十年度でも同地内に更に十二戸の建設が本決まりとなり、それと漁民アパート十六戸の建設が計画されております

（写真は完成した前原住宅）

町は昭和三十八年度より四十年度にいたる上水道事業三カ年計画を実施中でありますが、工事費約一億五千二百万円を投入して全町水道化をめざしております。

昭和三十九年度までに水源工事の大半を完了し、続いて浄水場および付帯施設も今月中に完成する運びとなりました。

四十年度はいよいよ幹線配水管および支線の延長工事を実施することになりましたが、第一期幹線工事を次のように計画いたしまして六月末までに本工事を仕上げることになりました。

配水管布設第一期は

一、夏海十字路（国道五十一号線と大洗～海岸沢線の交さ点）

矢場に望る国道五十一号沿線八〇七米埋設管口径一二五㎜

二、大貫町中宿下海岸線～専売公社寮側～国道五一号線～あぐり旅館前～大貫電停（九〇九米埋設管口径一五〇㎜）

三、大貫電停前～大洗観光ホテル下海岸路線～あんばいや前～古関屋前（一一八六米）埋設管口径一〇〇～二五〇㎜

なお一昨年施工済の夏海十文路～前原住宅～神宝湯旅館下海岸～中宿下、に望る配管沿線は、給水可能となりますので、配水管埋設と同時に各家庭への給水工事も併せて実施いたしたいと存じますので水道利用希望者は至急申込書を町水道課へ提出されますようお願いいたします。

なお第一期計画終了後第二期計画で旭町、緑町地区の配管を実施する予定であります。

本工事施行中はなにかと御迷惑をおかけいたしますが徹夜突貫工事をもってなるべく短期間に終了いたしますよう努力いたしますので

町水道利用の申込みは

～水道課～